

02 消費者安全確保地域協議会（見守りネットワーク）

市町村見守りネットワークの構築

【県版見守りネットワークによる推進】

(H29. 12. 20 徳島県設置)

「とくしま消費者見守りネットワーク」を設立し、市町村見守りネットワークの構築を支援



県域の関係機関・団体が連携し

- ①被害の現状と対策に関する情報収集・分析
- ②市町村見守りネットワークの構築、活動支援
- ③関係機関・団体による啓発、消費者教育

【平成30年度末に全市町村での協議会設置完了】



【県の役割変化】

構築支援
から
活動支援へ

消費生活協力員・協力団体を活用した見守り活動を推進

〈地方消費者行政強化作戦 2020（消費者庁の数値目標）〉

地域の見守り活動に消費生活協力員・協力団体を活用する市町村の都道府県カバー率50%以上

徳島県の取組

令和2年度：地方消費者行政強化作戦2020達成（徳島県人口カバー率50.8%）

★コンビニや宅配業者、金融機関、新聞販売店等 加入状況：8/24市町村（R3.4時点）

令和3年度：目標 人口カバー率100%

事業者のゆるやかな見守り活動を通じて効果的な情報発信

02-1 とくしま消費者見守りネットワーク

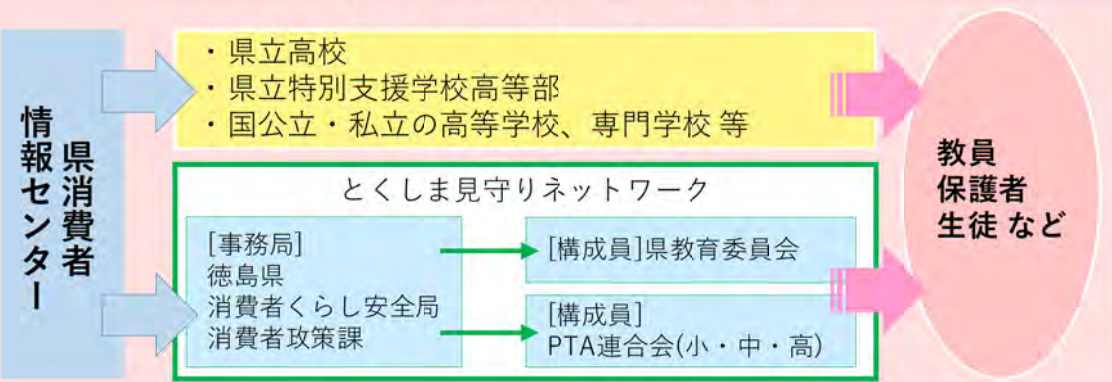
とくしま消費者見守りネットワーク 構成員



高齢者だけではなく「若者」を含めた幅広い世代を対象としたネットワークへ

教育委員会・PTAの加入による見守りの拡充

教育関係機関における情報ルート



若者へ見守りの対象に



若者の消費者トラブルに特化したメールマガジンを発信

構成員へチラシと共にメールマガジンを送付(月1回)

若者の消費者トラブルに対する意識を醸成

〈連携事例〉

コロナウイルスに便乗した悪質商法への注意喚起（令和2年5月頃～）

高齢者等の消費者被害を未然に防止するため、市町村や見守りネットワーク構成団体及び学校等と協力し、全県下へ注意を呼びかけた。

【消費者被害未然防止チラシ】

新型コロナウイルス感染症に乗じた悪質商法の事例等を掲載したチラシを作成。

▼高齢者向け

▼若者向け



【周知】

構成員の皆様にご協力いただき、県内に広く周知。

構成団体	チラシ配布場所
(株)阿波銀行	100店舗 ※サイネージ他
(株)徳島大正銀行	県内62店舗(6,200枚)
徳島県信用農業協同組合連合会	県内75店舗(7,500枚)
徳島県信用金庫協会	県内20店舗(2,000枚)
日本郵便(株) 徳島県内の郵便局	県内11店舗(1,100枚)
ヤマト運輸(株)徳島主管支店	宅配物と一緒に(1,000枚)
(一社)徳島新聞社	地域の絆シリーズで紹介(20万戸)
生活協同組合とくしま生協	宅配物と一緒に(55,000枚)
(公財)徳島県老人クラブ連合会	各老人クラブへ(データ)
(特非)徳島県消費者協会	各地域の協会(3,000枚)
徳島県警察本部	防犯キャンペーン等で配布(500枚)

〈徳島新聞販売店会「地域の絆」へ掲載〉

徳島新聞 おすすめ記事 「地域の絆(きずな)」シリーズ No.18 **コロナ詐欺対策** 絆シリーズは地域の課題、啓発・注意等をテーマに作成しています。

新型コロナウイルスに便乗した悪質商法に気を付けよう! 10万円給付関連装う連絡“すべて詐欺”

独立行政法人国民生活センターが発表している給付金・助成金に関する全国各地の相談事例	
相談事例①	相談事例②
若い男から電話があり「国から一律に10万円を給付することになったが、よく早く手元に届けるためにマイナンバーカードの申請代行をする。手続きに2,3万円かかるが、家にいながら10万円がもらえる」と言った。(50代・男性)	10万円の特別定額給付金の代理申請業務を行う団体を名乗る者から電話で個人情報や口座番号を聞かれた。(50代・女性)
相談事例③	相談事例④
市役所をかたったSNSが届き「お年寄りのいる世帯に現金入金します」という内容。金融機関の口座番号を入力するよう求められた。(40代・女性)	市役所の新型コロナウイルス対策室を名乗る者、個人情報聞き出す不審な電話を受けた。(年代不明・女性)

その他の事例
オレオレ詐欺
息子の名義で会社の上司に借りたお金を返してほしいと電話があり、上司から「新型コロナウイルスで困っているの、早くお金を返してほしい」と頼まれ、現金100万円を手渡した。(80代・女性)

新型コロナウイルス検査関連
自宅の固定電話に「新型コロナウイルスの検査が無料で受けられる。マイナンバーカードが必要。これから自宅に行く」という電話があった。(50代・女性)

マスク関連
保健所の職員を名乗る者から「家族は何人か、マスクを明日届ける」と電話があった。(70代・女性)

徳島新聞 県警、HPに想定手口掲載 コロナ便乗犯罪を警戒



徳島新聞販売店会
「地域の絆」
シリーズ No.18



県と消費者庁との連携プロジェクト
高齢者等の消費者トラブルを防ぐ
とくしま消費者見守りネットワーク
と連携して作りました

裏面も
ご覧ください!
徳島県からの
お知らせがあります



うら面に県作成のチラシを掲載していただきました

新型コロナウイルスに便乗した悪質商法にご注意ください!

1 知らない人・覚えのない業者からのメールに注意!

(携帯電話会社名で)新型コロナウイルス関係の助成金を配布しますので、URLをタップして確認してください。

注 心当たりのない送信元からのメールやSMSには反応しないで!

2 公的機関等のなりすまし電話やオレオレ詐欺に注意!

役所の職員です。助成金を支給したいので早急に口座番号や住所を教えてください。

注 口座情報や暗証番号等を教えたり、現金を振り込んではいけません!

3 自宅待機を狙った訪問販売や電話勧誘に注意!

困ったときは、一人で悩まずに消費者ホットライン
188

最寄りの消費生活センターや消費生活相談窓口をご案内し、消費生活相談の最初の一步をお手伝いします。

注 怪しいと思ったら、きっぱり断って!急いで契約や支払いはしないで!

大切な人・自分を守るための行動を心がけましょう

消費者としてこんなことに気をつけましょう!

感染予防のために・・・

- 不要不急の外出は避け、家でできるだけ家で過ごす
- 外出する時はマスクをする
- 日常的に塩エチケット、うがい、手洗い、消毒をする

買い物する時は・・・

- 距離はできるだけ避ける
- 必要な分だけ買う
- 転売目的の購入はしない

3つの密を避けましょう!

閉空間、集場所、接場面

この3つの条件が揃う場所は、感染リスクが高くなります。日常生活でも3密を避けましょう。

情報発信しています

徳島県の新型コロナウイルスに関する消費者向け情報
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/yohokuyangou/>

徳島県の最新の消費者行政・消費者教育
とくしま消費者行政プラットフォーム
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/yohokuyangou/>

Twitter, Facebook

徳島県危機管理環境部 消費者くらし安全局 消費者政策課

3密 こんど

【連携のポイント】

- ・ 県全域にわたる新聞販売店ネットワークの活用
- ・ 新聞販売店による主体的な広報誌の作成
- ・ 当該広報誌への「行政情報」の掲載

一石多鳥!

お問い合わせは
徳島新聞販売店会
徳島市中徳島町2丁目5-2
☎(通話料無料) 0120-46-1940
●発行時間 月～金曜(祝日除く)9:30～17:30

◎最寄りの消費生活センター等につながる全国共通の電話番号
消費者ホットライン 188番
市町村や県の消費生活センター等の消費生活相談窓口を案内してくれます。

◎最寄りの警察署または、警察相談専用電話
警察相談専用電話 #9110

おがしいなと
感じたら
転売す損ね!!

02-2 市町村見守りネットワーク〈構成員の強みを生かしたネットワーク〉

市町村	構成団体	消費者情報の発信に関する活動
阿波市	<ul style="list-style-type: none"> ・阿波市民生委員児童委員協議会 ・阿波市老人クラブ連合会 ・阿波市婦人団体連合会 ・社会福祉法人阿波市社会福祉協議会 ・阿波市教育委員会 ・阿波市地域包括支援センター ・阿波市企画総務部危機管理局危機管理課 ・阿波市産業経済部商工観光課 など <p style="text-align: center;">社会福祉協議会や 民生委員児童委員などによる 多重的な連携</p>	<p>〈事務局：阿波市消費生活センター〉 ※消費生活相談員を社会福祉協議会に委託</p> <p>○社会福祉協議会のネットワークを活かした細やかな見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員による訪問 …訪問の機会を活かして啓発物を配布し、訪問販売による消費者トラブルを注意喚起 …消費生活センター作成啓発チラシを全戸配布 <p>○幅広い世代へ啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会が構成員であることを活かし、市内全域小学生を対象に啓発（相談員が出前講座等を実施） <p>○消費者協会によるキャンペーン活動を通じた効果的な情報発信</p> 
神山町	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者協会 ・老人クラブ連合会 ・身体障害者連合会 ・民生委員児童委員協議会 ・社会福祉協議会 ・商工会 ・郵便局 ・農業協同組合 ・生活協同組合 ・新聞専売所 ・警察署 <p style="text-align: center;">地域包括支援センターが活動することで、 商店などの事業者が見守り活動に参加</p>	<p>〈事務局：地域包括支援センター〉</p> <p>○地域包括支援センターの高齢者の見守りネットワークに消費者被害防止の機能を付加</p> <p>○地域包括支援センターを通じ日常的に自宅訪問を行うほか、地域住民からも情報提供があり、常時住民とのつながりを保持</p> <p>○町内の商店や電気店、ガソリンスタンドなど商工会メンバーのほか、郵便局員、新聞専売所なども見守りを実施し情報を発信</p>  <p style="text-align: right;">▲郵便局員による見守り</p>
小松島市	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人小松島市社会福祉協議会 ・小松島市身体障がい者連合会 ・小松島市民生・児童委員連絡協議会 ・県南徳新会小松島支部 ・日本郵便株式会社小松島横須郵便局 ・株式会社阿波銀行小松島支店 ・「こまつしま」くらしの安全・安心サポーター※ ・南サロンのぞみ ・小松島市防犯協会 ・小松島市老人クラブ連合会 など <p style="text-align: center;">事務局を市役所におき、 ボランティアの啓発活動をはじめ、 構成員が見守り活動へ積極的に参加</p>	<p>〈事務局：小松島市市民生活課、介護福祉課、小松島市消費生活センター〉</p> <p>○「こまつしま」くらしの安全・安心サポーター※による積極的な啓発活動</p> <p style="text-align: center;">地域の活動「おせったい」でのキャンペーン活動 など</p> <p>○高齢者憩いの場として集まるサロン等で相談員による講座を開催（令和2年度：11回）</p> <p>○「消費生活センターだより」の全戸配布（広報誌に折り込み）</p> <p style="text-align: center;">その時期の消費者被害事例のほか地域の情報を掲載</p>  <p style="text-align: right;">▲「こまつしま」くらしの安全・安心サポーター▶</p> <p>※消費者行政に関する活動や取組を行うボランティア</p>